

使用済み携帯電話の都内回収実験について

東京都環境局廃棄物対策部
計画課長 谷上 裕

平成21年3月4日

東京都・事業者の連携による回収促進

希少金属等含有製品回収促進協議会

- 携帯電話等に含まれる資源リサイクルを促進するため、行政・事業者との連携策を検討
- 携帯電話のリサイクルの仕組みを積極的にPRし、回収量向上を図るため、

都内の大学や地下鉄等を回収拠点とした
携帯電話の回収実験を実施

実施期間 平成20年10月～2か月間

都内20か所に回収箱を設置

回収実験概要

■回収対象

携帯電話・PHSの端末本体、電池、充電器

■回収・リサイクルはMRNの仕組みを利用

併行実施

■東京都の広報媒体を活用した
携帯電話のリサイクルに関する意識調査

■都及び区市町村との連携による広報活動



回収結果(20か所合計)

回収台数

- 端末本体 1,522台
- 充電器 527個相当
- 電池 1,371個相当



回収された主な資源(推計値)

端末本体	金 25g	銀 126g	銅 5,053g	パラジウム 12.6g
充電器	鉄 594g	銀 30g	銅 4,167g	アルミニウム 297g

各拠点の端末回収台数

特別区域		多摩地域		地下鉄駅	
■都庁第一本庁舎	151	■立川市	83	■都営 日比谷駅	29
■都庁第二本庁舎	118	■武蔵野市	247	■メトロ 日比谷駅	66
<都庁計>	269	■昭島市	66	■都営 東新宿駅	62
■荒川区	120	■町田市	52	■メトロ 東新宿駅	3
■練馬区	95	■福生市	140	■都営 飯田橋駅	10
■足立区	76	■多摩市	67	■メトロ 飯田橋駅	105
<区役所計>	291	<市役所計>	655	<地下鉄駅計>	275
■慶応義塾大学	9	■首都大学東京	9		
■早稲田大学	14	<大学計>	32		
					計 1,522台

回収結果の分析

庁舎、地下鉄駅

- 6か所で1箱に100台以上もの端末本体が投入された。
- 全体平均で、携帯電話の販売店での回収台数（1店舗約100台／2か月）に近い台数が集まった。
- 多くのマスコミで取り上げられたことや行政広報による周知効果があった。
- 一般の人がいつでも行ける場所に回収箱が置かれていたため、協力を得やすかった。

大学

- 回収台数は3大学それぞれ10台前後と少ない結果となった。
- その要因として、若い世代の携帯電話への愛着などによる退蔵傾向の強さ、リサイクルの協力に対するインセンティブの期待が大きいことなどが考えられる。

回収した携帯電話のリサイクルルート

回収

回収箱は施錠したまま携帯電話回収専用車両で
横浜市内の保管施設に運搬



開梱作業

本体、電池、アダプタ類に分別し本体の数量を数える
➡ 本体内の情報漏えい防止のため、穴を開けて破砕
➡ 破砕後、福井県敦賀市内のリサイクル施設に搬送

リサイクル事業者による再資源化処理

リサイクル施設で分別解体・焼却・破砕
➡ 貴金属さいを大分県の精錬施設に搬送



携帯電話のリサイクル 意識調査

インターネット都政モニターアンケート

インターネット都政モニター500人に「携帯電話の資源リサイクル」をテーマにアンケートを実施

期間 平成20年11月7日(金)~13日(木)

回答数 474人 (回答率94.8%)

環境局ウェブサイトを活用したアンケート

一般の都民向けに、環境局ウェブサイト上でアンケートを実施

期間 平成20年10月2日(木)から2か月間

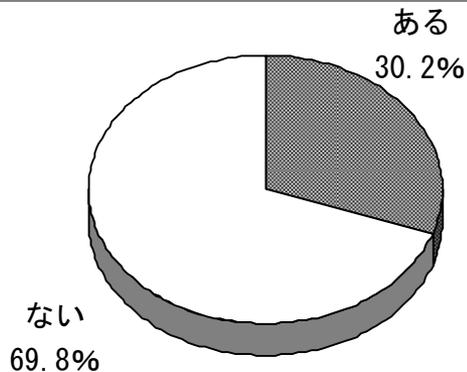
回答数 184人

意識調査結果①

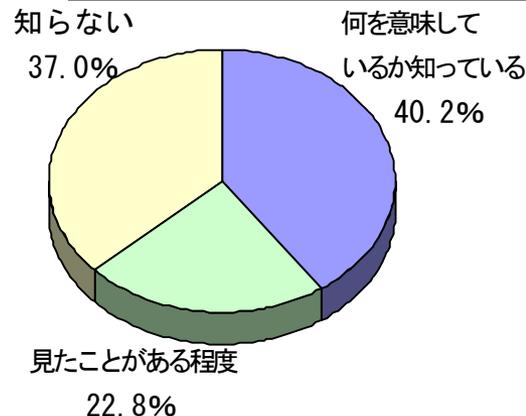
携帯電話リサイクルの認知度 / 使用済み端末の処分



リサイクルマークを見たことがあるか



リサイクルマークについて



《マークやその意味を知らない》

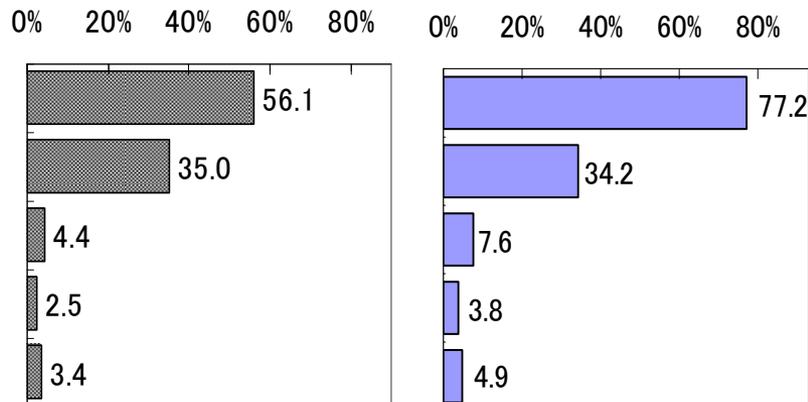
(左) 都政モニター 69.8%
(右) 環境局ウェブ 59.8%

不要になった携帯電話をどのように処分したか

《持ち続けている》

(左) 都政モニター 56.1%
(右) 環境局ウェブ 77.2%

持ち帰って保有している
販売店で引き取ってもらった
ごみとして捨てた
知人・家族にあげるなどして手放した
その他



意識調査結果②

持ち続ける理由 / リサイクルへの協力の意向

《情報漏えい心配》

(左)

都政モニター 73.1%

(右)

環境局ウェブ 55.4%

《思い出》

(左)

都政モニター 42.3%

(右)

環境局ウェブ 58.1%

《協力したい》

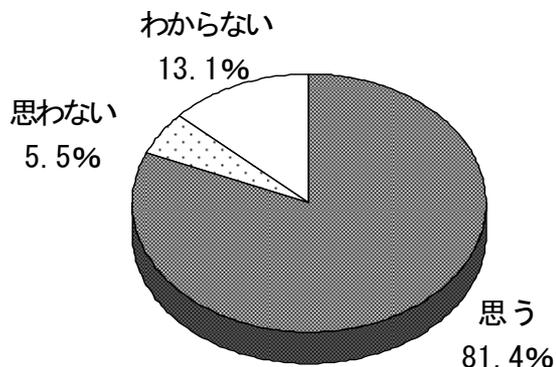
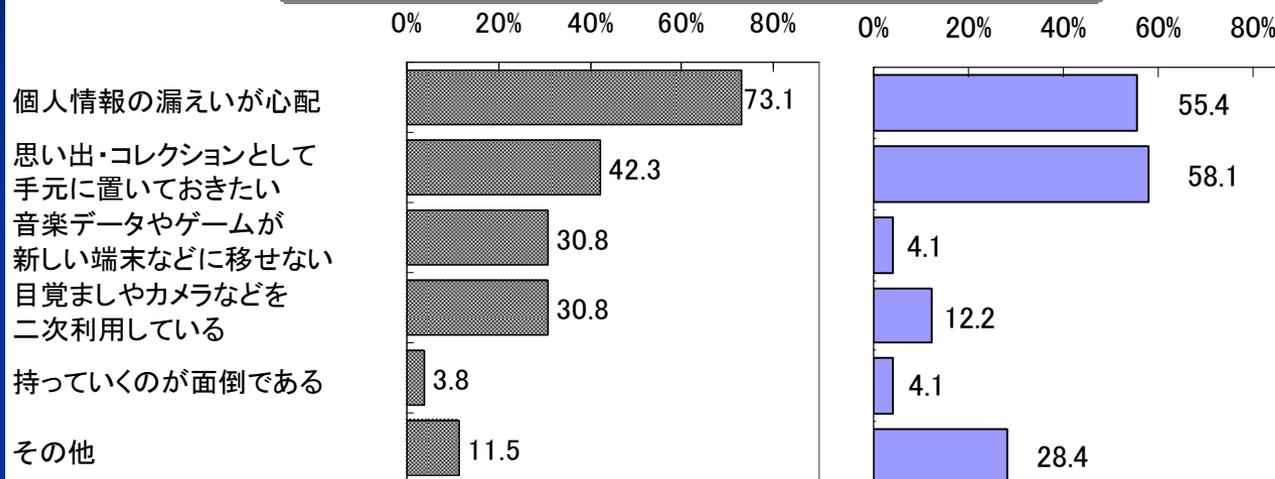
(左)

都政モニター 81.4%

(右)

環境局ウェブ 51.3%

不要になった携帯電話を持ち続ける理由



今後、リサイクルに協力したいと思うか

保有し続ける

47.4%

今後、販売店に持って行こうと思うか



意識調査結果③

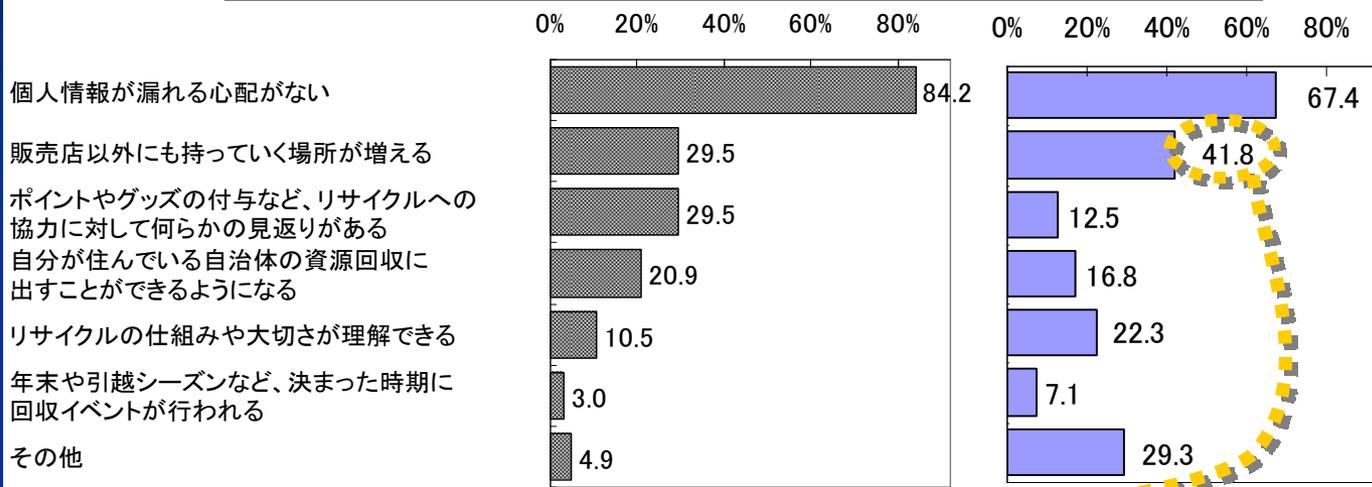
リサイクルの動機付け / 販売店以外の回収場所

リサイクルしたいと思う動機付け・仕組みのあり方

《情報漏えいの心配がない》

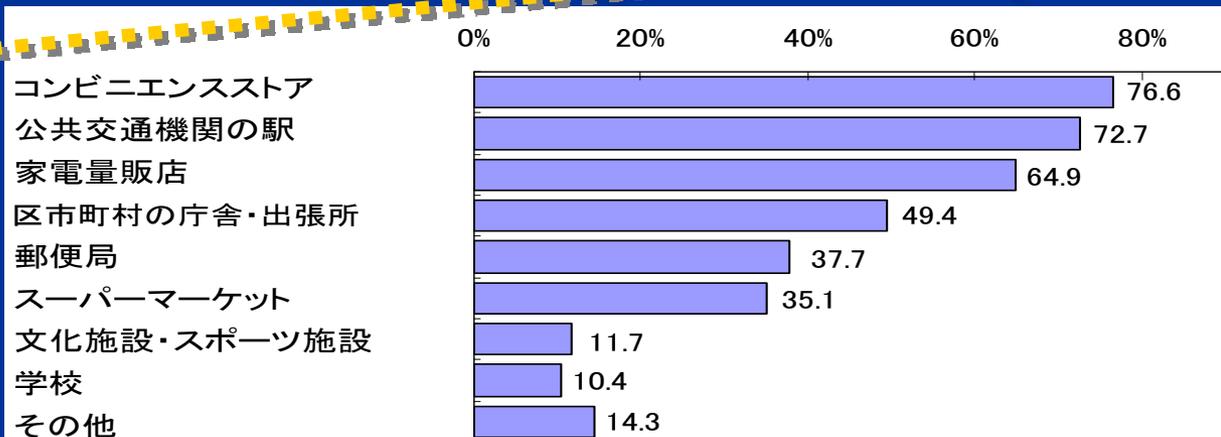
(左)
都政モニター 84.2%

(右)
環境局ウェブ 67.4%



「販売店以外にも持っていく場所が増える」を選択した人に質問

どのような場所に増えればよいと思うか



携帯電話のリサイクル 今後の検討

携帯電話の回収促進PR策

販売店での回収システムについて、事業者によるPRの強化や行政の広報の活用、回収イベントの実施等により、周知徹底を図ることを検討



回収拠点の拡大策

行政の施設提供など、回収拠点としての協力を区市町村等に呼びかけ、回収拠点の拡大を図ることを検討

